

そうじの力だより

VOL.255



支援レポート

互いに役立ち合う社風が育つ
～ホームセンターの三大主義「そうじの力」～

香川県高松市を本拠とし、県内および近県に十二店舗を展開するホームセンター、西村ジヨイ(株)。

同社で、十三年前から筆者がお手伝いして、「そうじの力」と銘打って環境整備(整理・整頓・清掃)の取り組みが行われています。

現在、年に二回、研修会を行っています。研修会は、持ち回りで、開催店舗を決め、そこに全店舗からそうじのリーダーが集まってもらい、一日がかりで行います。

今回は、香川県琴平町にある琴平店を舞台にして開催しました。

まず、朝礼前に、店内のエリアを決めて、商品の品棚の商品をいったん出して拭きあげ、棚板も拭きあげます。これにより、商品と棚板がキレイになるだけでなく、値札の剥がれや商品の回転の状況などにも気づくことができます。



朝礼でのミニ実習で商品と棚板を拭きあげる

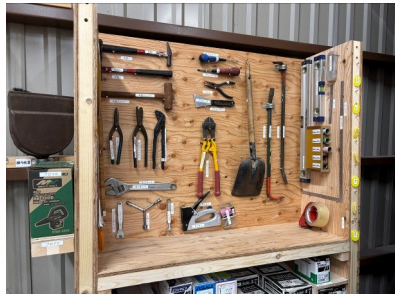
次に朝礼です。毎回五分間のミニ実習をしております。今回は、「看板やPOPの劣化や剥がれに気づこう」

というテーマで、店内を全員で見回り、課題を参加者で共有しました。次に、各店から、この半年間の活動報告をしております。

各店では、年度初めに、年間活動スケジュールを作っています。どのタイミングで、こういったアクションをするのかを明確にしています。

各店の年間スケジュールには、月ごとにどういったことを重点的に実践するかが盛り込まれています。

たとえば、工場の作業室の整理・整頓や木材売場の仕置の裏側の清掃、幟旗やPOPの整理、といったものです。



整理・整頓された工作室の工具類

前回からの宿題で、全店舗共通のテーマは、ガーデンセンターのレジの改善と、倉庫在庫ゼロ化の二つです。

ガーデンセンターのレジ周りがごちゃごちゃしており、野暮ったい感じだったのです。もともとオシャレなレジにしようということで、各店が工夫をこらして改善に取り組んでくれました。

ある店舗は、レジ周りに植物を配置することで、ナチュラルなカフェ風のイメージができました。



全社標準に採用された店舗のレジ周り

この店舗のモデルを標準として、全店舗に拡げていくことになりました。このように、同社では、最初から本部サイドで正解を決めません。各店のアイデアで一番良いものを採用し、横展開するのです。

今回のもう一つのテーマ、倉庫在庫ゼロ化は、十三年間ずっと取り組んでいる大きなテーマです。バックヤード倉庫に商品を置かず、すべてを店頭に出す取り組みです。九割がたは出来ているのですが、残りの一割がなかなか完遂できません。

特にガーデンセンターの商品は、物が大きくかさばることもあり、店頭に出せず苦戦している店が多いのです。

今回の実習では、開催店で店頭に出せていないパラソルやベンチなどを、組立てた上で展示し、残りの箱在庫も、売場レイアウトを変えるなどして、すべて店頭に並べることができました。

限られたスペースの中で、物をあちこちに動かしながら、全員で大きな汗をかきながらの実習のようす



大汗をかきながらの実習のようす

この実習のようすは、実は普通ではないと感じています。この開催店のガーデンセンターが良くなっても、他店舗からの参加者の利益になるわけではありません。にもかかわらず、参加者全員が、一生懸命に開催店のために汗をかいているのです。



パラソル在庫をすべて店頭に出した

「互いに役立ち合う社風」が、同社にはあります。元々あった要素もあったでしょう。他の施策によるものもあるでしょう。そして間違いなく、そうじの力を通じて「互いに役立ち合う社風」が定着していったに違いありません。(小早)



今月の読書から

『リーダーになる人を知っておいてほしいこと』 松下幸之助著
～ 人間としての基本的なことが大事 ～



松下幸之助翁が松下政経塾の塾生に向けて話した内容をコンパクトに編集したものです。政治家としてどうこうよりも、人間としてどうあるべきかを説いた含蓄のある言葉が響きます。

く服装とか、身の回りをきちんとする。何事もこれが基本。昔の武士は、武士道の精神から入っていくわけだが、その最初が「座る」こと。つまりいずまいを正すことだった。同じように仕事にも儀礼があるわけや。

現在、いくら業績がよく順調であっても、結局において成功するのは、そういう基本的なことをまじめにやっているところやな。企業を支えるのは最終的には人なのだから、その人間ができていなければだめである。

ぼくは九歳のときに船場へ奉公に出

て、厳しくしつけられた。朝早く起きて、顔を洗い、むこう三軒両隣を掃除するわけだが、掃除の仕方が悪いとよく叱られた。お得意さんへ行くときは、お辞儀の仕方から挨拶の仕方まで全部教えてもらった。『「こんにちは、いいお天気ですね」と挨拶しなさい。それから、こういうふうに言うて、こうやって、最後にこういうふうにお辞儀して帰ってきなさい」とね。

業績とは一見関係がないように思えるけれども、まず人間としての基本的なところ、人間を育てていくということが大切だ。掃除がきちんとできていればまず大丈夫なわけや。>

く(前略)だから、どんな仕事でも、単純な仕事でも、真心をこめてやらないと具合が悪い。そこからいろいろなものが生まれてくるわけや。掃除の仕方でも、やっているうちに、こういう掃除の仕方があるということがわかってくる。

(中略)ところがはたして、全員が朝の掃除を三十分間、誠心誠意やっているかという問題やな。形式的にやっているだけだったら、それはもう、何も身につかんわ

けや。植木の間を掃除している。葉が落ちている。その落ち方を見て、この植木は傷んでいるからもっと水をかけてやらなければいけないというようなこともわかってくる。掃除をしていながら、植木を育てることもできるわけや。すべてにおいてそうなれば、商売をしていても、こういう商売の仕方は具合が悪い。将来の日本のためにならない。将来の日本のためになるには、商売の仕方を変えないといけない。そのためには、この法律は必要ない、この法律があつたらかえってじゃまになるから、この法律を変えなければならぬ。すると、さらに、そのためには政治をこうあらねばならない、ということまで発想していくことになる。

だから、掃除をしている過程において、偉大な政治の要諦がつかめるわけや。>

松下幸之助翁は、政治家を志す人たちに、掃除という小さなことができなければ、政治という大きなことはできない、と説いたと言います。その教えに、納得した人も、また納得しなかった人もいたそうです。同じことが、経営者にも言えそうですね。(小早)

編集後記

大自然のリズム

毎年、異常な猛暑が10月くらいまで続いたり、逆に今年のようにお盆から荒天が続いたり、年ごとに天候状況は変わるものの、お彼岸の時期になると、図ったように曼珠沙華(彼岸花)が色鮮やかに咲き誇ります。



誰かが管理しているわけでもないのに、きっちりカレンダー通りに秋分の日に合わせて咲く曼珠沙華を見ていると、大自然の力は、人知をはるかに超えた偉大なものであると感じずにはいられません。(小早)



飛鳥のつづやき

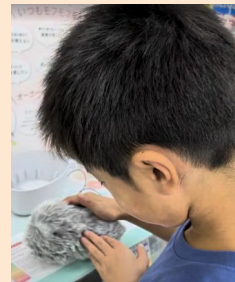
ペットロボット

電器屋さんに行ったとき、モルモットのようなものすごくかわいいAIペットロボットを発見。

長男に見せたところ、いたく刺さってしまったようで、コーナーを離れられず(笑)。

「絶対に家にお迎えしたい」と言うものの、まあいいお値段のため、初めて「ちょっと高めの長期的目標設定」をし、クリア出来たらお迎えしよう！ということに。

熱を継続させるために、ちょこちょこ電器屋のロボットに会いに行く日々です。(大槻)



株式会社そうじの力

そうじで組織と人を磨くコンサルティング

弊社は“そうじ＝整理・整頓・清掃”を通じた企業風土改革を支援します。

現場巡回、実習、講義、チームミーティング、計画作りを通じて、社長と社員の意識改革を図り、健全な企業風土作りをお手伝いします。

支援期間は1年から。毎月1回訪問を

原則としますが、企業規模や現場の状況、ご要望に応じて、プログラムをオーダーメイドします。

また各種団体向けの講演のご依頼も受け付けております。(全国対応)